



平成24年9月7日
一般社団法人日本地質学会

日本地質学会第119年学術大会(大阪大会) 「都市から発信する地質学」

発表形態:

資料配付(9月7日)

説明会(9月12日(水)14時00分より 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス A13 棟 2 階会議室にて)

※説明会へご出席される方は、9月11日(火)17時までに(社)日本地質学会事務局にお申し込み下さい。

発表先:

文部科学省記者会、大阪府政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、科学新聞社

概要:

1) 日本地質学会第119年学術大会(大阪大会)を開催 (資料1)

公開シンポジウム

「上町断層の地下構造と運動像 —都市域伏在活断層の地質学—」

「西日本の海溝型地震と津波を考える」

2) 特筆すべき個人、団体の学術発表

(1) 衛星情報から僅かな地盤のズレを検知することによる広域災害警戒技術 (資料2)

(2) 巨大津波によってえぐられた気仙沼湾の海底 —気仙沼湾復興を目指した最新観測調査— (資料3)

【既報の成果に関する研究発表】

(3) Japan Trench Fast Drilling Project (JFAST): 2011年東北地震の巨大滑りを理解するための掘削調査
(資料4)

3) 表彰

4) 関連行事

(1) 市民講演会「地震・津波・地盤災害 ～知ること、伝えること～」(資料5)

「将来の地震津波災害にどう備えるか ～過去の巨大地震大津波からの教訓～」

金田義行

「内陸地震はどのように起こるのか？」 飯尾能久

「近畿の地盤特性と地震時の挙動」 三田村宗樹

(2) 地質情報展2012おおさか「過去から学ぼう 大地のしくみ」

産業技術総合研究所、大阪市立自然史博物館との共催で地質をテーマにした展示会を開催します。大阪および周辺地域の地質をはじめとして、最新の地質学の成果や地震・津波・地盤災害の起こるしくみをわかりやすく体験的に展示・解説します。小学校入学前のお子様からお年寄りまで、皆さんに楽しみながら「地質」を学んでいただけるイベントです。

(3) 小さな Earth Scientist のつどい 第10回小、中、高校生徒「地学研究」発表会

中・高等学校の地学クラブの活動、および授業の中で児童・生徒が行った研究発表を行います。

内容:

1) 日本地質学会第119年学術大会(大阪大会)を開催 (資料1)

開催日: 2012年9月15日(土)~17日(月)

場所: 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス(大阪府堺市中区学園町 1-1)

<http://www.geosociety.jp/osaka/content0001.html> (発表プログラム等を閲覧できます)

学術大会を取材希望の方は、事前(学会事務局)、もしくは当日(会場受付)申し出て下さい。

【公開シンポジウム】

「上町断層の地下構造と運動像 —都市域伏在活断層の地質学—

日時: 9月16日(日) 9:00~12:00

会場: 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス Uホール白鷺

「西日本の海溝型地震と津波を考える」

日時: 9月17日(月・祝) 9:00~12:00

会場: 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス Uホール白鷺

2) 特筆すべき個人、団体の学術発表

(1) 衛星情報から僅かな地盤のズレを検知することによる広域災害警戒技術 (資料2)

衛星情報による干渉 SAR 解析技術を用いた観測システムを開発したことで、広い地域にわたる地滑りなどの災害の予兆となる地盤の微小な変動を捉えることのできる可能性を、東京大学工学部の中村貴子・六川修一会員が示しました。この成果は、広い地域の地殻変動予測への応用が期待され、地盤災害の防災・減災に役立つものです。

(2) 巨大津波によってえぐられた気仙沼湾の海底 —気仙沼湾復興を目指した最新観測調査— (資料3)

気仙沼湾全域について巨大津波の襲来前後の海底地形と底質の変化を最先端の音響解析装置と無人ロボットにより調査した結果、気仙沼港の西湾奥と大島瀬戸の西半分の海底が大きく洗掘され、局所的

に水深が深くなっていることを秋元和實会員(熊本大学)らが明らかにしました。津波による沿岸海底の変化がこれほど詳細に分かったのは初めての成果です。海底地形の変化は湾内の海流などに影響を与える可能性があり継続的な観測が望まれます。また、瓦礫や油分などの堆積物の情報は、港湾の復旧作業や、海水の汚染被害を防ぐために役立てることができます。本成果と新しい調査技術は、各地の港湾の復旧および将来の都市沿岸の防災計画に役立てられることが大いに期待されます。

本調査は、熊本大学・国立大学協会共催事業として実施されたものです。

【既報の成果に関する研究発表】

(3) Japan Trench Fast Drilling Project (JFAST): 2011年東北地震の巨大滑りを理解するための掘削調査 (資料4)

海洋研究開発機構(JAMSTEC)は、東北地方太平洋沖地震を引き起こしたプレート境界断層を直接調べる世界で初めての掘削調査(JFAST: Japan Trench Fast Drilling Project)を実施しています。この調査は、海面下 6800m の海底を掘削し断層から岩石サンプルを採取するとともに、断層周辺に精密温度計を設置して2011年の地震の際にプレート境界断層で発生した摩擦熱を計測することで、プレート境界断層の滑りのメカニズムを明らかにすることを目的としています。この調査で得られるプレート境界断層の滑り特性は、滑り量のシミュレーションなどに活用され、東南海地震などの海溝型地震による地震・津波の想定と防災対策に寄与することが期待されます。講演では、プロジェクトの概要を航海の首席研究者である James Mori 会員(京都大学)が紹介します。

3) 表彰

一般社団法人日本地質学会では地質学に関する優秀な研究業績を修めた方や地質学の発展・普及による社会貢献の著しい方を顕彰しています。本年の受賞者は次の方々および団体です。

日本地質学会賞:

受賞者 木村 学(東京大学)

対象研究テーマ テクトニクス、付加体地質学、沈み込みプレート境界地震発生帯物質科学

日本地質学会小澤儀明賞:

受賞者 山本伸次(東京大学)

対象研究テーマ 造山運動論

日本地質学会学会表彰: (2件)

受賞者 北九州市立自然史・歴史博物館(いのちのたび博物館)

表彰業績 自然・環境保全活動および地質学の教育・普及への貢献

受賞者 狩野謙一会員(静岡大学)・村田明広会員(徳島大学)

表彰業績 教科書発行と構造地質学普及への貢献

4) 関連行事

(1) 市民講演会「地震・津波・地盤災害 ～知ること、伝えること～」(資料5)

日時: 2012年9月16日(日) 14:30～17:00 【入場無料】

会場: 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス Uホール白鷺 (大阪府堺市中区学園町 1-1)

*アクセスマップ→ <http://www.osakafu-u.ac.jp/access/index.html#nakamozu>

後援: 大阪市教育委員会・堺市教育委員会・大阪府・大阪市・堺市・NHK 大阪放送局・毎日新聞社・読売新聞大阪本社・朝日新聞社・一般社団法人全国地質調査業協会連合会・関西地質調査業協会

内容: 昨年の東日本大震災以降、防災対策と防災意識の必要性が再認識されています。近畿地方においても歴史的に見れば繰り返し地震・津波の被害を受けており、南海地震などの近い将来の発生も予測されています。最終的に被害の拡大を抑える力となるのは地域住民の意識と行動であり、それには最新の情報が欠かせません。本講演会では3名の講師の方々に最新の研究成果をわかりやすく解説していただきます。

「将来の地震津波災害にどう備えるか ～過去の巨大地震大津波からの教訓～」 金田義行(海洋研究開発機構)

「内陸地震はどうして起こるのか？」 飯尾能久(京都大学)

「近畿の地盤特性と地震時の挙動」 三田村宗樹(大阪市立大学)

※詳細は <http://www.osakafu-u.ac.jp/event/2012/20120916.html>

※本事業は大阪府立大学創基130年記念事業の一環として開催します。

※市民講演会の前後各1時間に会場エントランスホールにおいて、「市民向けポスター展示説明会」を行い、研究者と市民が直接対話できる機会を設けます。

(2) 地質情報展2012おおさか 「過去から学ぼう 大地のしくみ」

日程: 2012年9月15日(土)～17日(月・祝) 9:30～17:00 【入場無料】

(初日は13:00開場、最終日は16:00終了)

会場: 大阪市立自然史博物館・花と緑と自然の情報センター(大阪市東住吉区长居公園)

*アクセスマップ→ <http://www.ocsga.or.jp/n-jyoho/access/>

主催: 独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター・一般社団法人日本地質学会・大阪府立自然史博物館

特別協力: 長居パークセンター

後援: 大阪市教育委員会・堺市教育委員会・大阪府・大阪市・堺市・NHK 大阪放送局・毎日新聞社・読売新聞大阪本社・朝日新聞社・一般社団法人全国地質調査業協会連合会・関西地質調査業協会

会・日本ジオパークネットワーク

内容： 大阪および周辺地域の地質をはじめとして、最新の地質学の成果や地震・津波・地盤災害の起こるしくみをわかりやすく体験的に展示・解説します。小学校入学前のお子様からお年寄りまで、皆さんに楽しみながら「地質」を学んでいただけるイベントです。

展示コーナーで解説をするのは、地球科学の先端の研究を日々行なっている研究者です。展示についてだけでなく、地球について日頃感じている疑問など、なんでも質問してください。

- ・最新の地質学の成果の紹介
- ・地震・津波・地盤災害の起こるしくみ
- ・「化石のレプリカ作り」をはじめとした体験実験コーナーで楽しく学ぶ！
- ・各コーナーでは地質研究者が解説します
- ・地質なんでも相談
- ・地学オリンピック： 目指せ金メダル ーアルゼンチン大会への道ーほか

HP URL: <http://www.gsj.jp/event/2012fy-event/osaka2012/>

(3) 小さな Earth Scientist のつどい 第10回小、中、高校生徒「地学研究」発表会

日時： 2012年9月16日(日) 9:00～15:30

場所： 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス 学術交流会館(水戸市文京 2-1-1)

後援： 大阪府教育委員会・堺市教育委員会・大阪府・大阪市・堺市・NHK 大阪放送局・毎日新聞社・朝日新聞社・読売新聞大阪本社・一般社団法人全国地質調査業協会連合会・関西地質調査業協会

内容： 地学普及行事の一環として、地学教育の普及と振興を図ることを目的として、学校における地学研究を紹介する「地学研究」発表会をおこなっています。大阪大会でも、中・高等学校の地学クラブの活動、および授業の中で児童・生徒が行った研究の発表をします。研究者も発表するポスター会場内に、特設コーナーを用意し、児童・生徒同士のみならず、研究者との交流もできます。なお優秀な発表に対しては「優秀賞」を授与します。

参加予定校(7月18日現在、12校、15件)

高校(10校)

- ・兵庫県立加古川東高等学校地学部(3件)
- ・(香川県)高松第一高等学校
- ・滋賀県立彦根東高等学校
- ・大阪府立岸和田高等学校天体部(2件)
- ・大阪府立清水谷高等学校自然科学部
- ・大阪府立港高等学校パソコン同好会理科班

- ・大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎
- ・大阪府立堺東高校地学部
- ・城星学園高等学校理科部
- ・私立水戸葵陵高等学校
- ・早稲田大学高等学院理科部地学班

中学(2校)

- ・大阪市立新北島中学校 科学部
- ・栃木県那須烏山市立下江川中学校特設科学部

4)連絡先:

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-8-15 (社)日本地質学会事務局

電話 03-5823-1150 ファックス 03-5823-1156

e-mail main@geosociety.jp

URL <http://www.geosociety.jp>

担当理事:内藤一樹(029-861-3953)